

知っ得！かしこい消費者

【編集・発行】台東区区民部 暮らしの相談課 消費者担当

〒110-8615 台東区東上野4-5-6 03-5246-1144

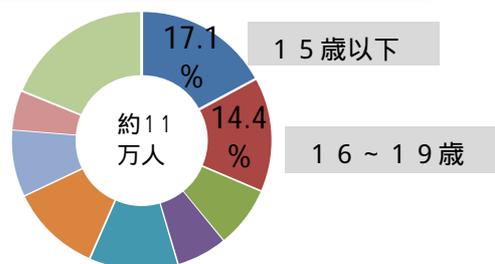
身近なところにひそむ危険

知っていますか？

自転車

自転車はとても便利で身近な乗り物ですが、事故も多発しています。「平成26年中の交通事故発生状況」によれば、2014年の自転車乗用中の死傷者は約11万人で、そのうち64%は運転者に原因があり、そのうち、未成年者が31.5%と約3分の1を占めています。また、自分がけがをしたりするだけでなく、歩行者に被害を与えて、高額な賠償金を払わなければならない事例も増えています。

自転車乗用中の年齢別死傷者数



ルールを守ろう！

歩行者の通行妨害の禁止

歩道通行の禁止

右側通行の禁止

二人乗りの禁止

2台並んで走行禁止

夜間・無灯火の禁止

片手運転の禁止

信号無視



「ながらスマホ」はやめよう！

「みんながやっているから」「ちょっとだけ」という軽い気持ちでも、自分がけがをしたり、他の人にけがをさせた時には、責任は自分にあ



pixta.jp - 15027175

賠償額	事故の概要
9521万円	男子小学生(11歳)が夜間自転車で走行中、歩行中の女性と正面衝突。女性は意識が戻らない状態になった。
9266万円	男子高校生が昼間車道を斜めに横断し、対向車線を自転車で直進してきた男性と衝突。男性に重大な障害が残った。

スマートフォン



スマートフォンを持っている人も多いと思いますが、「充電中に充電端子とスマホが溶けた」「本体が熱くなり、低温やけどになった」というような事故が発生しています。寝ている間に充電している人も多いと思われるので、寝ている間に大きな事故になる危険性もあります。注意点を守って、安全にしたいものです。

スマートフォンを付属のUSBケーブルでパソコンとつないで充電していたら、夜中にこげ臭いにおい気が付いた。

充電中のスマートフォンをそばに置いて寝ていたところ腕の下に入り込んで、腕のあたりがヒリヒリして目が覚めた。見ると赤くなっており、医師から「低温やけど」と言われた。

おかしい！
と思ったら、
すぐに使用
を中止しま
しょう！

低温やけど: 体温より少し高めの温度でも長時間触れていると、やけどのようになる

アドバイス

スマートフォンの充電端子に異物(金属片や鉛筆の芯など)や液体(汗や飲料水など)が付いたまま充電すると、充電端子が発熱したり、燃焼したりすることがあります。また、ななめに入れたり、無理に抜き差しすることも端子を破損させる原因になります。使用するときには、十分に注意しましょう。

使用中や、充電中に発熱するという事例もあり、長時間肌に触れていると低温やけどになることもあります。長時間肌に触れたり、ポケットに入れて肌に密着したりしないようにしましょう。



化粧品・染毛剤



サンプル化粧品を試しただけなのに・・・

サンプルの化粧品をつけてみたら皮膚が赤くなった。病院に行ったら、化粧品にかぶれたかもしれないと言われた。

アドバイス

化粧品や染毛剤には、体質によってアレルギーを起こす物質が含まれていることがあります。一度アレルギー症状が出ると、次にまた同じ症状が出る可能性があります。低年齢のうちからアレルギー原因物質に接する機会が増えることは注意が必要です。

電子レンジ



便利な道具にも、危険がひそむことがあります。

アドバイス

電子レンジで飲み物を温めるときに温めすぎると、沸騰していないように見えているのに手に取った途端沸騰して中身が飛び出すことがあり、「突沸(とつぷつ)」と言います。あわてて取り出そうとすると、やけどやけがをしたりすることがあります。加熱しすぎないように注意しましょう。また、温めすぎた場合には、少し時間をおいて冷ましてから取り出すようにしましょう。